輝く命

HIKARE

～光れ～

新生会広報誌
vol.21
令和８年７月発行

社会福祉法人 新生会

社会福祉法人 新生会
https://www.i-shinseikai.jp/
詳しい情報はホームページで

1 社会福祉法人新生会　法人本部事務局
〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割128番地1
電話：019-611-0242　FAX：019-611-0252

2 障害者支援施設「新生園」
〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割125番地
電話：019-697-6831　FAX：019-697-8248

3 障害者支援施設「第二新生園」
〒028-3617
岩手県紫波郡矢巾町大字太田第17地割54番地
電話：019-697-8011　FAX：019-697-8013

4 医療型障害児入所施設
「みちのく療育園メディカルセンター」
〒028-3623
岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番地
電話：019-611-0600　FAX：019-611-0601
医療的ケア児支援センター（相談窓口）
電話：019-611-0610

5 多機能型施設「ワークセンターむろおか」
〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割124番地
電話：019-697-6856　FAX：019-611-1666
エコレストランあいのの
〒028-3605
岩手県紫波郡矢巾町大字間野々第12地割50番地
電話：019-681-0304　FAX：019-681-0306

6 多機能型事業所「あさあけの園」caféあさあけ
〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵エ新田第6地割17番地2
電話：019-697-6537　FAX：019-658-8538

7 相談支援事業所
「障害者地域生活支援センター　しんせい」
電話：019-697-3300　FAX：019-601-2826
紫波地域障がい者基幹相談支援センター
電話：019-601-2805　FAX：019-601-2826
〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵エ新田第6地割17番地2

8 共同生活援助事業所「新生ホーム」
・室岡ホーム・見前ホーム・中島ホーム・第二中島ホーム
〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割70番地9
電話：019-611-1199　FAX：019-601-2380

法人の理念

「輝く命（かがやいのち）」

法人の基本方針

第１　人権の尊重
私たちは、利用者の人権を侵害することなく障がいがあるが故の差別をしてはならない

第２　四者一体での運営
私たちは、利用者・家族・職員・役員の四者一体となって運営を図らなければならない

第３　倫理の確立
私たちは、法令遵守や高い倫理観が求められており、常に人格・資質の高揚に努めなければならない

第４　地域生活支援の活動強化
私たちは、地域と連携し、要援護者に対してより良い支援提供に努めなければならない

２年目を迎えて

常務理事　菊池　優幸

昨年6月の理事会で常務理事の拝命をいただき、2年目を迎えました。この間、法人内外の皆様から、たくさんの御指導や御支援をいただき、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

今年度は、次期中長期経営計画の策定の年度となっております。現行計画の達成状況を振り返りつつ、御利用者や御家族の皆様をはじめ、関係者の方々から御意見をお伺いしながら検討を進めて行きたいと考えております。

これからの法人・施設の運営については様々な検討課題がありますが、近年、財務環境が厳しくなる中で特に大きな課題と考えているのが、①老朽化が進む施設の今後のあり方とそれを見据えた維持・修繕、②障がい福祉分野でも取組が求められている介護テクノロジー等の導入による生産性の向上です。

特に①については、老朽化が進む中、利用者の皆様に快適に過ごしていただけるよう、新生園では居室等のリフォームを完了し、第二新生園では今年度、サービス棟（浴室）の整備を予定するなど施設機能の維持・向上に取り組んでおりますが、将来に向けて、大規模修繕や改築（移転を含む）のほか、その間の維持・修繕のあり方なども含めて検討が必要な時期に来ていると考えております。

いずれにしても多額の財源が必要と見込まれますが、国の施設整備補助金については、障害者支援施設の改築に当たっては、地域移行・地域生活支援を推進する観点から、入所定員の数割以上の削減を検討すること、生活環境の向上に向けて、居室の個室化を推進するよう努めること、とされているようです。

整備から40年が経過する中で、こうしたことも勘案しながら、具体的な検討を進めるよう新しい計画にも位置付けていければと思っております。

今年度は、中東情勢の悪化による物資不足や価格高騰などにより、法人・施設運営をめぐる環境が一層厳しくなることが懸念されますが、今後も利用者の皆様が快適でそれぞれの個性が輝く毎日を過ごしていただけるよう努めて参ります。

皆様におかれましては、今後とも御支援と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新任施設長　ご挨拶

障害者地域生活支援センター　しんせい
所長　吉田　清久

平素より、当事業所の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、令和8年4月より障害者地域生活支援センターしんせい所長に就任いたしました、吉田清久と申します。これまで私は主任相談支援専門員として、日々の業務を通じて地域の皆様の様々な声に触れる経験をしてまいりました。また、紫波・矢巾地域における事業所間のネットワークづくりや、児童から成人へとつながる切れ目のない支援のあり方について、地域の方々や関係機関の皆様とともに考え、実践を重ねてきた経験は、私にとって大きな財産となっております。これまでの経験で培った「つながり」を大切にし、利用者様お一人おひとりが安心して自分らしく過ごせる環境づくりに尽力してまいります。また、地域の福祉ネットワークの一翼を担う「紫波地域障がい者基幹相談支援センター」の事業においても、地域社会との連携をさらに深め、皆様にとって身近で頼りになる存在でありたいと考えております。

法人の理念「輝く命」のもと、利用者様、現場を支える支援者が共に輝ける環境を作り、地域福祉へ貢献できるよう尽力してまいる所存でございます。所長という大役に身の引き締まる思いではございますが、職員一同と力を合わせ、より良い施設づくりに邁進していく決意です。

今後とも、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【令和７年度】社会福祉法人　新生会
決 算 報 告

◎貸借対照表（令和8年3月31日現在）　（単位：円）

資産の部		負債の部	
流動資産	890,608,668	流動負債	146,793,299
固定資産	2,463,013,433	固定負債	197,275,505
		負債の部合計	344,068,804
		純資産の部	
		基本金	351,764,846
		国庫補助金等特別積立金	367,739,738
		その他の積立金	464,422,500
		次期繰越活動増減差額	1,825,626,213
		純資産の部合計	3,009,553,297
資産の部合計	3,353,622,101	負債及び純資産の部合計	3,353,622,101

◎事業活動計算書（令和7年4月1日～令和8年3月31日）　（単位：円）

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部	サービス活動収益	1,579,812,477
	サービス活動費用	1,563,363,224
	サービス活動増減差額	16,449,253
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	7,750,508
	サービス活動外費用	3,006,860
	サービス活動外増減差額	4,743,648
経常増減差額		21,192,901
特別増減の部	特別収益計	1,981,524
	特別費用計	207,430
	特別増減差額	1,774,094
当期活動増減差額		22,966,995
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,824,096,218
	当期末繰越活動増減差額	1,847,063,213
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	7,117,000
	その他の積立金積立額	28,554,000
	次期繰越活動増減差額	1,825,626,213

【令和7年度】社会福祉法人　新生会　苦情・要望　対応状況

令和7年度、各事業所にお寄せいただいた苦情・要望の総数は、15件でした。

種類	件数	職員の対応	サービスの内容	施設の設備・環境	説明・情報提供	その他
苦情	12	7	1	2	1	1
要望	3	1	2	0	0	0

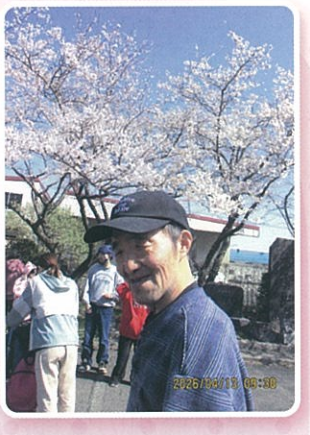
※詳細に関しましては、新生会ホームページをご覧ください。

各事業所では、お寄せいただいた苦情・要望を真摯に受け止め、事業所内で情報を共有、丁寧な説明を行うことで解決に努めています。また、事業所毎に苦情解決第三者委員会を開催し、第三者委員に苦情や要望の内容を報告し、助言をいただいております。

2026 春

障害者支援施設
新生園

お花見 散歩



新年度を迎え、生活介護でお花見を兼ねた散歩に出掛けました。周辺の田んぼ道を通りご近所の矢巾町農村環境改善センターへ…。

つくしやスイセンを見つけたり、花の名前を教えて下さる利用者さんもいたりと、みんなで春の訪れを実感しました。

環境改善センターでは満開の桜の下で記念写真を撮りました。

昨年の秋は熊の出没が相次ぎ、なかなか散歩ができない状況でした。春になり久々の散歩となって、利用者さんも職員もうれしさが溢れます。「暑くなるまでにまた出かけたいね」とお話をして、楽しいお花見散歩になりました。

障害者支援施設
第二新生園

お花見会

桜が咲き始めた頃に雨風が強い日がありましたが、今年も無事にお花見会を行うことができました!生活介護Ⅱと入所は園の周りや日の輪・月の輪形遺跡を散歩しています。就労Bは五郎沼に外出し、それぞれお花見を楽しんでいます。ちょうど見頃の桜を見ることができ、「綺麗!」と何度も話す利用者さんやお花に近づき愛でる利用者さんもおりました。

事業所紹介

医療型障害児入所施設
みちのく療育園メディカルセンター

患者さんとご家族に寄り添う

みちのく療育園メディカルセンターでは、小児科外来と障がい者歯科外来を開設しており、地域の皆さまの医療や相談等に応じています。

【小児科診察】

川村みや子医師が主に小児発達に関する診療（発達外来）を担当しており、お子さま一人ひとりの成長や発達に合わせ丁寧に診察をしています。発達外来では、心理検査、各種相談にも対応し、ご家族の不安や悩みに寄り添いながら総合的な支援に努めています。

【リハビリテーション】

リハビリテーションでは、お子さまが楽しみながら取り組めるよう工夫を行い、遊びやコミュニケーションを通して、無理なく成長や発達を促せるよう支援しています。

【歯科外来】

障がい者歯科外来では、特別な配慮を必要とする方へ歯科診療を行っております。一人ひとりの特性に合わせ、安心して受診いただける環境づくりと、医師や看護師、リハビリ職員などと連携しながら安全な診療に努めています。口腔保健指導も重視しており、患者さんやご家族と相談しながら、適切な口腔ケアによる口腔内環境の維持・改善に努めています。

多機能型施設
ワークセンターむろおか

お食事会

新年度になると、利用者さんと担当職員による「食事会」が行われます。食べたいメニューを伺い、なるべく期待に添えられるようお店を探すのも職員の楽しみの一つかもしれません。

おなじみ「エコレストランあいのの」をはじめ「びっくりドンキー」「南部屋敷」「初駒」などオシャレなメニューや純和風のメニューなど、そのお店ならではの美味しく楽しい食事の時間を過ごしてきました!帰りはちょっとドライブしつつ景色を眺めながら帰ってきました。来年もお楽しみに!

エコレストランあいののに通う利用者さんは、自分たちでピザやパンを手作りしました。
自由に作ったほんとの自家製パン!美味しかったね!

チーズカツ丼
うんっうまい!

長い長いぞ～!

共同生活援助事業所
新生ホーム

今年度の遊生会スタート♪

～遊生会～とはグループホーム(室岡ホーム、中島ホーム、第二中島ホーム、見前ホーム)利用者さんのお楽しみ会です。

利用者さんの希望を伺いながら食事会、小旅行、季節行事など、余暇活動を通して利用者さんの親睦を図っています。

令和8年4月21日は『春の景色を楽しもう!』ということで、10名の利用者さんと高松の池へ行ってきました。

少し風が強かったものの皆さんの思いが通じたのか青空が広がりたくさんの笑顔が咲きました(*^-^*)久しぶりの外出でしたので楽しい気分転換になったと思います。

5月12日(火)には「丼物の会」を開催しました。

紫波町の「すき家」で「うな丼」「鶏そぼろ丼」など好みの「丼」を選択し、喫食しました。ボリューム満点のご飯に大満足な利用者さんでした(*^^)v

新生ホームでは、日中事業所との往復だけではなく充実した生活を送っていただくための企画を行っています。今後も利用者さんの「行きたい! 食べたい! 見たい! 」をお伺いしながら、遊生会行事をさらに充実させていきたいと思います。

春をむかえて

多機能型事業所
あさあけの園

4月から、新しい利用者さんと職員2名を迎えにぎやかにスタートしました。

春の行事は都南中央公園へお花見外出。帰りに『フルールきくや』で軽食タイムを楽しみました。

この外出は、グループワークを通して案を出し合い決定しました!グループワークでは『みなさんが過ごしやすくするためのルールについて・やってみたい行事』などテーマを決めみんなで話し合い、利用者さんの主体性を大切にしています。

みんなが大好きなカラオケを行うためにカラオケマシーンも新たに購入し、曲数が増え益々盛り上がれそうです。

今年度も『明るく　楽しく　元気よく』を生活目標に過ごしていきたいと思います。

『ピッチから地域へ未来へ』

障害者地域
生活支援センター
しんせい

当センターは、紫波町・矢巾町より委託を受け「紫波地域障がい者基幹相談支援センター」を運営しています。その事業の一環の「理解促進研修・啓発事業」は、地域住民の皆様に障がいへの理解を深めていただくことを目的として取組んでいます。

今回は、今年3月15日に紫波町情報交流館を会場に、現役プロサッカー選手いわてグルージャ盛岡の牟田雄祐さんによる講演会を開催しました。講演ではスクリーンに映し出される牟田選手の写真を振り返る形式で進められ、幼少期のサッカーとの出会いから、学生時代、プロ生活、そして海外での経験まで、サッカー選手としての歩みが語られました。さらに、障がい福祉に興味を持ったきっかけ、なぜ紫波町で長期的な事業を始めようと考えたのかなど、現在に至るまでの熱い想いをお話しされました。100名を超える参加者からは「非常に良かった」という高い評価と「熱意に感動した」「自分にできることがあれば協力したい」など多くの感動の声が届きました。

会場ではパネル展示「福祉や障がいについて」「地域の事業所紹介」も好評で、福祉や障がいについてより深く知る機会となりました。牟田選手らは、現役のプロサッカー選手として活躍する傍ら、4月より紫波町旧東部保育所跡地を活用し、児童の福祉事業を中心とした『TERASU village』を始動されました。今後も牟田選手のような熱意ある活動と地域住民の皆様を繋ぎ、この地域の「福祉や障がい」について知っていただく取り組みを続けていきたいと思います。

勤怠管理システムの導入

法人本部

当法人では職員の出退勤の集計や、年次休暇などの申請から承認を効率よく行うことができるよう、勤怠管理システムの導入を進めております。

これまで手作業で行っていた出退勤の取りまとめや、紙による休暇などの申請をシステム上で行うことにより、正確な勤怠管理と事務の負担軽減につなげることができます。

シフト制による多様な勤務パターンや雇用形態があることから、システムの構築には時間がかかっておりますが、導入により職員の勤務状況の見える化を進めるとともに、データを適切に把握することで一人ひとりが安心して働ける環境整備に役立ててまいります。

これからもICTの活用を進めながら、業務の効率化とサービスの質の向上に取り組んでまいります。

インターンシップガイダンス

岩手県立大学のインターンシップガイダンスへ行ってきました。近年、インターンシップは業界研究以外にも“就職先の見極めにも繋がる”として活用が増加しています。今回は大学OGが登壇し、当法人インターンシップの魅力を説明。ガイダンス終了後の個別説明には、多くの学生が足を運んでくれました。

新生会インターンシップは、ホームページから受け付けています。現場経験や相談業務経験など、ご希望に沿ったプログラムを提供いたします。

学生の皆様のインターンシップ利用をお待ちしております。

新卒入職者フォローアップ研修

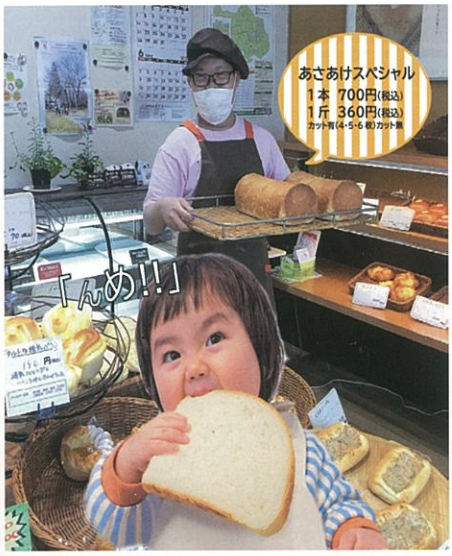
令和8年度採用の新卒入職者を対象に研修を実施しました。年間を通してフォローしていく研修で、第1回は「フォロワーシップ」「ガバナンス」「ジョブクラフティング」「グロースマインドセット」など。社会人1年目、これから色々な経験をするうえで必要な考え方を学んでもらいました。

法人を背負って立つ人材がまた一人、二人と増えていくことが楽しみでなりません。

一方で、先輩職員もウカウカしてられないです。後輩に恥じない姿勢を見せなければと身が引き締まる思いです。

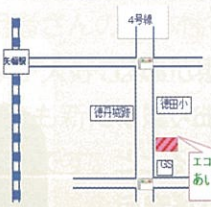
Information

cafe「あさあけ」



多機能型事業所　〒028-3614　矢巾町又兵工新田 6-17-2
「あさあけの園」　TEL 019-697-6537　FAX 019-658-8538

エコレストランあいのの



社会福祉法人　新生会
エコレストランあいのの
紫波郡矢巾町大字間野々12-50
営業時間　11:00~14:30
(ラストオーダー 14:00)
定休日　月曜日・火曜日・水曜日
TEL.019-681-0304
FAX.019-681-0306

新生会主催

みんな輝くフェス ～新生会～

期日　10月2日（金）～ 10月3日（土）

会場　矢巾町活動交流センター（やはばーく）

内容　【催事】　午前10時～午後3時
利用者、町内こども園児、歌や踊りを通じた地域の皆様との交流
缶バッチ作成、
事業所商品販売（ピザ、パン等）

【展示】　開館時間内
利用者作品展示（個人作品、事業所）
活動紹介パネル展示
ほか

表紙写真		
	上段	ワークセンターむろおか 行事『盛岡市の名所巡り』のうちの1コマです! 場所：盛岡八幡宮
	下段	あさあけの園 お花見外出。桜もきれいで最高! マル!! 場所：都南中央公園

編集後記

「HIKARE ～光れ～」第21号をお手に取っていただきありがとうございます。事業所ページは、利用者様の希望を伺い企画した外出など工夫をこらした事業所の取組みをご紹介しました。

法人の理念「輝く命」のもと、利用者様、ご家族様、地域の皆様と共に歩み続けている様子を、広報誌の紙面・内容を工夫し、新生会の魅力を発信してまいります。